

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 助川電気工業株式会社

コード番号 7711 URL <http://www.sukegawadenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百目鬼 孝一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小滝 理 TEL 0293-23-6411

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 平成26年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	3,216	43.1	368	68.8	374	72.9	251	99.6
25年9月期第2四半期	2,248	8.5	218	73.2	216	73.9	126	129.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	38.31	—
25年9月期第2四半期	18.94	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	7,284	53.2	3,872	53.2	3,872	53.2
25年9月期	6,312	58.4	3,685	58.4	3,685	58.4

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 3,872百万円 25年9月期 3,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	8.00	—	6.00	14.00	14.00
26年9月期	—	8.00	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,024	18.9	426	36.1	430	39.2	286	49.7	43.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	6,710,000 株	25年9月期	6,710,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	151,390 株	25年9月期	49,090 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	6,575,993 株	25年9月期2Q	6,662,493 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や円安、株価の上昇等により、緩やかな持ち直しの傾向が見られ、企業業績が順調に推移しているものの、新興国の成長鈍化、燃料および原材料価格の上昇等の影響も懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社におきましては、シーす型の熱電対・ヒータ・信号ケーブル等を中心に受注の確保を目指すとともに、例年になく集中した原子力関連の試験研究設備等の納期に対し、個人別稼働計画の推進等による社内の生産体制の最適化等を図り対応してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は32億1千6百万円(前年同期比43.1%増)、営業利益は3億6千8百万円(前年同期比68.8%増)、経常利益は3億7千4百万円(前年同期比72.9%増)、四半期純利益は、2億5千1百万円(前年同期比99.6%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

エネルギー関連につきましては、福島第一原子力発電所の事故以来、計画が延期されていたものが再開するなど、ナトリウム関連、核融合関連及び軽水炉関連等、原子力関連製品全般の受注および納期が集中したことにより、売上高19億2千6百万円(前年同期比79.0%増)、セグメント利益(営業利益)3億2千4百万円(前年同期比63.2%増)となりました。

産業システム関連につきましては、液晶パネル製造装置用の基板加熱装置等が減少した半面、半導体製造装置関連製品等が好調に推移したことにより、売上高11億3千9百万円(前年同期比12.1%増)、セグメント利益(営業利益)1億6千4百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

その他につきましては、売上高1億5千万円(前年同期比3.3%減)、セグメント利益(営業利益)9百万円(前年同期比40.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は72億8千4百万円となり、前事業年度末に比べ9億7千1百万円増加しました。負債は34億1千1百万円となり前事業年度末に比べ7億8千4百万円増加しました。純資産は38億7千2百万円となり前事業年度末に比べ1億8千6百万円増加しました。

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態に関する分析は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、前事業年度末から9億3千1百万円増加し、47億8千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金および受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末から4千万円増加し、25億2百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却等により投資その他の資産が減少した半面、アルミ試験棟の建設に伴う建物が増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末から7億4千7百万円増加し、30億6千2百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金および電子記録債務が増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末から3千6百万円増加し、3億4千9百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末から1億8千6百万円増加し、38億7千2百万円となりました。これは利益剰余金が増加したものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて2億7千9百万円増の15億9千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、3億5千万円(前年同期は、1億1千2百万円の資金の減少)となりました。これは主に、売上債権が増加(△693百万円)した反面、仕入債務の増加(584百万円)、税引前四半期純利益の計上(375百万円)、前受金の増加(76百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、5千3百万円(前年同期比114.6%増)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入(59百万円)があった半面、有形固定資産の取得による支出(△102百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、1千8百万円(前年同期比65.9%減)となりました。これは主に、長期借入れによる収入(80百万円)があった半面、配当金の支払による支出(△39百万円)、自己株式の取得による支出(△37百万円)、借入金の返済による支出(△20百万円)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の下期につきましては、上期に納期が集中した反動により、売上高及び作業量とも上期に比し減少する見込みであります。

業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年2月13日に発表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は、本日発表いたしました「平成26年9月期第2四半期(累計)個別業績予想との差異および通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,311,695	1,590,757
受取手形及び売掛金	1,742,368	2,436,228
商品及び製品	130,739	126,631
仕掛品	328,780	280,730
原材料及び貯蔵品	240,207	257,405
その他	100,068	93,328
貸倒引当金	△3,600	△3,600
流動資産合計	3,850,259	4,781,481
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	587,598	651,597
土地	884,958	884,958
その他(純額)	203,389	224,740
有形固定資産合計	1,675,946	1,761,295
無形固定資産		
投資その他の資産	33,151	32,158
その他	765,784	719,703
貸倒引当金	△12,379	△10,579
投資その他の資産合計	753,405	709,124
固定資産合計	2,462,503	2,502,578
資産合計	6,312,762	7,284,060
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	648,688	1,044,577
電子記録債務	—	188,189
短期借入金	1,240,000	1,240,000
未払法人税等	101,224	117,333
賞与引当金	76,296	76,862
その他	248,796	395,925
流動負債合計	2,315,006	3,062,888
固定負債		
長期借入金	10,632	63,952
退職給付引当金	292,486	275,692
その他	9,038	9,435
固定負債合計	312,156	349,079
負債合計	2,627,162	3,411,967

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金	1,164,309	1,164,309
利益剰余金	1,598,948	1,810,894
自己株式	△31,585	△69,458
株主資本合計	3,652,772	3,826,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,827	45,247
評価・換算差額等合計	32,827	45,247
純資産合計	3,685,600	3,872,092
負債純資産合計	6,312,762	7,284,060

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	2,248,199	3,216,451
売上原価	1,660,660	2,410,255
売上総利益	587,539	806,195
販売費及び一般管理費	369,283	437,683
営業利益	218,255	368,512
営業外収益		
受取利息	2,087	1,913
受取配当金	2,073	3,102
受取保険金	—	5,104
その他	5,027	6,672
営業外収益合計	9,188	16,792
営業外費用		
支払利息	9,408	9,009
その他	1,477	1,958
営業外費用合計	10,885	10,968
経常利益	216,558	374,336
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,508
特別利益合計	—	1,508
特別損失		
投資有価証券売却損	21,238	—
特別損失合計	21,238	—
税引前四半期純利益	195,320	375,844
法人税、住民税及び事業税	90,000	109,000
法人税等調整額	△20,875	14,933
法人税等合計	69,124	123,933
四半期純利益	126,196	251,911

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	195,320	375,844
減価償却費	59,134	43,873
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△1,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	381	566
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,187	△16,794
投資有価証券売却損益(△は益)	21,238	△1,508
受取利息及び受取配当金	△4,161	△5,015
支払利息	9,408	9,009
売上債権の増減額(△は増加)	△667,031	△693,860
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,244	34,959
仕入債務の増減額(△は減少)	213,046	584,078
前受金の増減額(△は減少)	—	76,094
その他	55,766	33,065
小計	△78,641	438,513
利息及び配当金の受取額	4,158	5,018
利息の支払額	△9,338	△8,970
法人税等の支払額	△30,149	△93,315
その他	1,750	9,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	△112,220	350,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,219	△12,253
有価証券の売却による収入	2,306	59,078
有形固定資産の取得による支出	△25,957	△102,132
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	2,030	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,841	△53,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,200,000	1,700,000
短期借入金の返済による支出	△1,200,000	△1,700,000
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△26,338	△20,672
自己株式の取得による支出	△117	△37,872
配当金の支払額	△26,650	△39,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,106	△18,103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△190,167	279,061
現金及び現金同等物の期首残高	1,123,235	1,311,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	933,067	1,590,757

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上 額(注)3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,076,417	1,016,172	2,092,590	155,609	2,248,199	—	2,248,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,076,417	1,016,172	2,092,590	155,609	2,248,199	—	2,248,199
セグメント利益	199,049	143,087	342,137	16,678	358,815	△140,560	218,255

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおりま
す。
2 セグメント損益の調整額△140,560千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告
セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上 額(注)3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,926,758	1,139,278	3,066,037	150,414	3,216,451	—	3,216,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,926,758	1,139,278	3,066,037	150,414	3,216,451	—	3,216,451
セグメント利益	324,926	164,352	489,279	9,856	499,135	△130,623	368,512

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおりま
す。
2 セグメント損益の調整額△130,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告
セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,920,377	197.7
産業システム関連	1,117,242	111.1
その他	3,774	123.9
合計	3,041,394	153.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,486,550	144.1	1,142,572	76.9
産業システム関連	883,295	119.0	526,423	147.4
その他	3,774	123.9	—	—
合計	2,373,620	133.6	1,668,996	90.5

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,926,758	179.0
産業システム関連	1,139,278	112.1
その他	150,414	96.7
合計	3,216,451	143.1

- (注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
独立行政法人日本原子力 研究開発機構	225,946	10.1	501,558	15.6

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。